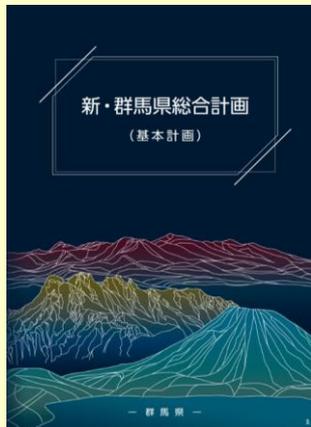


令和8年度 学校教育の指針



新・群馬県総合計画（2021年～2040年）

- ・群馬の20年後の目指す姿を描く「ビジョン」
- ・今後、重点的に取り組む具体的な施策を体系化した「基本計画」

群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画） (2024年度～2028年度)

最上位目標：自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う
共生社会へ向けて

一ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成一



自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

- 本指針は、上記計画等に基づき、群馬県教育委員会が目指す令和8年度の学校・園教育の重点項目を示したものです。市町村教育委員会、学校、園において、教育計画づくりや日々の教育実践を行う際に御活用ください。
 - 「校長の資質向上のための指標」及び「教員育成指標」等を基に作成しています。
 - 赤下線部をクリックすると、関連する資料のページにつながります。
- ※本ファイルデータを各自で保存して御活用ください。



群馬県教育ビジョンの実現へ向けた取組

(第4期群馬県教育振興基本計画)

～オール県教委で支える「自律した学習者」の育成～

群馬県教育委員会では、教育ビジョンの実現に向けて、「自律した学習者」の育成に必要なエージェンシーを発揮できる環境の構成に、各課で取り組んでいます。

群馬県教育ビジョン 最上位目標
自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、
高め合う共生社会へ向けて
一ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、
自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成

エージェンシーを発揮するための
土台となる人権教育・道徳教育

教師が「～させる」授業から、
児童生徒が「～する」授業へ

- 子供が主語となる学び
- 探究的な学びの充実

子供の非認知能力育成をサポート

- 非認知能力の育成に視点を当てた学校教育の改善
- 高校における生徒エージェンシー (SAH+)

自発的で健やかな
体づくりの充実

自分とみんなの
ウェルビーイング

特別な支援を必要とする
子供への支援の充実

子供も、教師も、保護者や地域住民も、
エージェンシーを発揮できる
環境の構成

幼小中高特のつながり

- 架け橋期の教育
- 県立高校の魅力化・特色化 (スクールミッション・スクールポリシー)
- 職業教育の推進

子供の成長を支える
生徒指導

教職員の学び方向上
に向けた研修デザイン

多様な学びへの支援

- 社会教育施設
- 青少年自立・再学習支援
- 「つなぐん」「つなサポ」の取組

自律した学習者

これからの
教職員の働き方

地域とともにある学校・
学校とともにある地域づくり

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の
一体的推進

エージェンシーを発揮

教育DXの推進

- 教育DXの推進と教職員の働き方向上
- 学びの充実と働き方改革に向けたICT活用環境整備を支援
- 県域校務支援システム・汎用クラウドの導入支援

家庭教育支援の充実

これからの時代の学び
を支える施設・設備

心理的安全性のあるインクルーシブな環境

学校・園経営 ～子供も大人もエージェンシーを発揮する教育活動の充実～

◆学校・園経営方針等の策定

- 国や県市町村教育委員会の教育施策等への深い理解
[第4期教育振興基本計画\(国\)](#)
[群馬県教育ビジョン\(第4期群馬県教育振興基本計画\)](#)
[全国学力・学習状況調査に関する資料](#)
- インクルーシブ教育の視点を踏まえた学校・園経営方針等の策定
- 学校・園課題の解決に向けた具体的な計画や手立ての教職員への提示

◆組織運営の整備

- 学校・園教育目標の具現化、非認知能力育成に向けた教職員への理解醸成
[非認知能力育成に向けた指定校による実践研究](#)
- 幼小中高特等の学校間連携
[発達に基づいた架け橋期のカリキュラムの構想](#)
- チームとしての学校の構築へ向けた、各教職員・関係機関の役割や相互の協働体制の明確化
- 適切な評価項目に基づく学校評価の実施
[群馬県「学校評価システム」の充実に向けて](#)

◆家庭や地域・関係機関との連携・協働

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
[地域と学校の連携・協働推進ガイドブック](#)
- 地域とともにある学校づくりに向けた、学校と家庭・地域の目標やビジョンの共有
- 子供・家庭の意向を最大限尊重した合意形成及び合理的配慮の提供
- 部活動の地域連携及び地域展開の推進
[ぐんま 学校部活動の地域展開](#)

◆教育課程の編成・実施・評価・改善

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための、カリキュラム・マネジメントの視点を持った教育課程の編成・実施
[各教科等授業改善プロジェクト](#)
[総合的な学習の時間で児童生徒も教師も楽しく探究教科横断的な学習の推進\(STEAM教育等\)](#)
- 指導体制に見合った適切な授業時数の設定
[令和6年9月30日付け文部科学省通知](#)
- 学校・園評価や学力調査等の結果に基づく教育課程の評価・改善

◆子供の多様性に応じた指導体制の構築

- 生徒指導と教育相談が一体となった支援体制の整備
- 人権教育・道徳教育の推進体制の充実
- 個々の子供の教育的ニーズへの対応
[「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」の活用Q&A](#)
[ぐんまの外国につながる子供たちの学び応援サイト ハーモニー](#)
- 特定分野に特異な才能のある子供への指導・支援
[有識者会議審議のまとめ](#)

◆安全・危機の管理

- 危機的な状況が起こらないよう対処する行動(リスクマネジメント)と、危機的な状況が発生した場合・発生した後の行動(クライシスマネジメント)に係るマニュアル等の作成・活用・見直し
[学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン](#)
- 日常的な点検・管理、適切な利用
- 感染症対策の徹底と継続
- 交通安全・不審者対応等、地域や関係機関と連携した取組の推進

◆働きやすい職場づくり

- 長時間勤務の是正に向けた、勤務時間の適正な記録の徹底と、廃止・縮小・ICT化の視点での業務改善の推進
[多忙化解消に向けた協議会からの「提言R7」](#)
- 教職員の業務の進捗状況や健康状態等を把握し、心理的安全性を確保するためのメンタルヘルスケアの実施
- [適正な学校部活動の運営に関する方針等](#)に基づいた活動時間や休業日の設定と、部活動数の適正化

◆教職員の資質・能力の向上

- 教職員のキャリア段階に応じた資質向上に向け、研修履歴等を活用した自律的・継続的な学びへの支援
[学び続けるぐんまの教員サポートマニュアル](#)
[研修講座・学習コンテンツ一覧](#)
- 日常的なOJTや協働的な研修の充実に向けた効果的・組織的な研修体制の推進
- 教職員の職能成長や組織の活性化、適材適所の登用を目的とした人事評価制度の活用

◆服務規律の確保

- 非違行為の根絶に向けた教職員への指導の徹底
[服務ガイドライン](#)
[体罰に関するガイドライン](#)
[児童生徒性暴力等根絶に向けたリーフレット](#)
- 信頼される学校・園づくりに向けた教職員の人権意識の高揚を図るための研修の充実
[学校におけるハラスメントの防止に関する指針](#)
- 教職員の日々の勤務状況等の把握と指導・助言
[勤務時間の適正な管理並びに総労働時間短縮のための指針](#)

小学校教育につなぐ、幼児期の教育

幼児期の教育は「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」ことが基盤となっています。そして、幼児期の「遊びを通した学び」を、小学校以降につなげていくことが大切です。



環境の構成

育ちを支える
「環境の構成」って
なんだろう？

小学校教育と幼児教育の円滑な接続の推進

小学校教育と幼児教育をつなげることで、子供の発達の連続性が保たれ、小1プロブレムの解消につながります。

① 基盤づくり

- 接続窓口、幼児教育施設との接続への担当者の明確化
- 管理職及び担任同士の情報交換等による関係づくり
- 幼児と児童との交流活動の実施

② 相互理解

- 幼児教育施設と小学校の教職員が互いの保育・教育の内容や方法について理解し合う合同研修会の実施

③ カリキュラムの作成・実施

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（いわゆる「10の姿」）を念頭に置いた教育課程の編成・実施
（ただし、「10の姿」を直接的に反映するものではない）
- 小学校と地域の幼児教育施設との協働による「期待する子供像」の設定
- 架け橋期のカリキュラムの作成と、保育・授業での実施

④ カリキュラムの評価・改善

- 子供の実態を踏まえ、架け橋期のカリキュラムの評価と改善

環境

学ぶ

遊ぶ

幼児期の教育の充実

「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。」

（幼稚園教育要領第一章総則より）

□ 興味・関心が高まり、思いや願いが生まれるような環境の構成

幼児の発達や興味・関心を理解し、一人一人に応じた意図的な環境の構成をする。教師も重要な環境であることを強く意識して、幼児の主体的な活動を見守りつつ、遊びの中で発達に必要な体験が得られるような援助や状況づくりを行う。

□ 自発的な活動としての遊びを通した総合的な指導

幼児が周囲の環境に自ら興味・関心をもって働きかける自発的な遊びの中で、幼児が発達していく姿を様々な側面から総合的に捉え、発達にとって必要な経験が得られるような状況をつくる。また、一人一人の発達の特性を把握し、その幼児らしさが発揮されるように指導する。

□ 幼児期の教育における見方・考え方を生かすための教師の関わり

幼児が環境に主体的に関わる中で、環境との関わり方や意味に気付き、これを取り込もうとして、試行錯誤したり考えたりすることが重要である。そのために教師は思わず関わりたくなる環境を計画的に構成する。幼児の心の動きに応じて、環境を再構成し、試行錯誤を見守り、過程を支え、感動や気付きの共有を大切にします。

豊かな人間性の育成

～子供の成長を支える生徒指導～

生徒指導

児童生徒がエージェンシーを発揮しながら自己指導能力を獲得できるよう、生徒指導「4つの視点」を常に意識して、生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見・対応に組織的・計画的に取り組むとともに、授業や学級経営等、日々の教育活動において、児童生徒理解に基づいた一人一人の自発的・主体的な成長を支える働きかけに積極的に取り組みましょう。

自己指導能力の獲得を支える生徒指導「4つの視点」

自己指導能力=自ら設定した目標の達成のために自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自ら決断・実行する力

自己存在感の感受

共感的な人間関係の育成

自己決定の場の提供

安全・安心な風土の醸成

【重層的支援構造の各層における支援の重点】

困難課題対応的生徒指導

特別な援助が必要な児童生徒に対する組織的・継続的な支援

- コーディネーター役の教員を位置付けた教育相談の推進
- SC・SSW・SL等の専門家や関係機関との積極的な連携による学校主体の組織的な対応

課題予防的生徒指導（課題早期発見・対応）

気になる児童生徒の早期発見・対応

- 日常の観察やチャンス相談、生活アンケート等による、いじめや児童虐待、ヤングケアラー等の早期発見
- 法に基づくいじめの積極的な認知と、学校いじめ対策組織を中心とした組織的な早期支援の実施
- 小さなSOSを受け止める体制整備

課題予防的生徒指導（課題未然防止教育）

全ての児童生徒に対する課題の未然防止に向けた教育・取組

- SOSの出し方・受け止め方に関する教育の意図的・計画的な実施（年1回以上の授業実施）
- 学級活動や児童会・生徒会活動における、児童生徒による主体的ないじめ防止活動の推進
- SC・SSW・SL等の専門家を講師とした、各校の実態に応じた生徒指導に関する校内研修の実施

具体的な取組のポイントを示した
[「児童生徒理解に基づく成長を支える生徒指導の充実」](#)
もご活用ください。

発達支持的生徒指導

全ての児童生徒の成長を支える日常的な教職員による働きかけ

- ありのままの自分を肯定的に捉えたり、他者の役に立っていると感じられたりする場面の設定
- 困ったときに弱音を吐いたり、頼ったり、相談したりできる児童生徒と教職員との信頼関係づくり
- 集団に支えられて個が育ち、個の成長が集団を発展させるという相互作用を生かした学級経営の充実
- 「魅力ある学校・学級づくり」と「誰もが分かる授業」の工夫など、児童生徒一人一人にとって安全・安心な居場所づくり



関連資料



豊かな人間性の育成

～エージェンシーを発揮するための土台となる人権教育・道徳教育～

人権教育

醸成された教職員の人権感覚を基に、組織的・計画的に常時指導の充実及び人権重要課題の解決に向けた取組の推進を図りましょう。

常時指導の充実

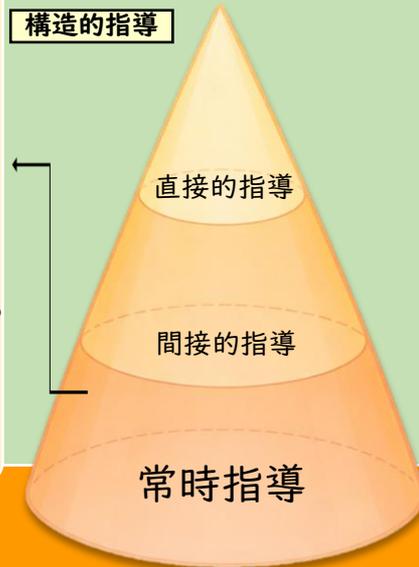
学校における人権教育は、全教育活動を通じて、常時指導を基盤とした構造的指導に留意して進める必要があります。

指導上のポイント

- 一人一人の児童生徒を深く理解する
- 尊重し合う人間関係を育てる
- 教室・言語環境を整える

「群馬県人権教育充実指針」参照

構造的指導



教職員の人権感覚

教育活動や日常生活場面において、教職員が自らの言動に潜む決めつけや偏見に気付き、児童生徒一人一人の人権を尊重する態度を身に付ける。

人権感覚チェックリスト

人権重要課題の解決に向けた取組の推進

学習

・同和問題

社会科を中心とした教科等における同和問題に関する正しい理解と認識を深める学習を通じた差別意識の解消 ※①参照 ※②参照

・インターネットによる人権侵害

インターネットによる差別事象やインターネットの適切な利用を含む情報モラルに関する教育の推進 ※②参照

体制づくり

・子どもたち

いじめや児童虐待、ヤングケアラー等、子どもの人権に関する問題についての早期発見・早期対応

・性的少数者の人たち

教職員への適切な理解の促進及び相談体制の整備 ※③参照

①「『部落差別解消の推進に関する法律』の趣旨を踏まえた人権教育の充実」

②「人権教育推進資料」

③「性的マイノリティに関する施策」

道徳教育

全教育活動を通じた道徳教育を推進し、他者と共によりよく生きるための道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てましょう。

全教職員の共通理解に基づく、組織的で一貫した道徳教育の推進

- 育てたい児童生徒像を踏まえた重点目標、重点内容項目に基づく、特色ある道徳教育の推進
- 各教育活動等との関連を明確にした全体計画及び別葉の作成及び活用・見直し

「特別の教科 道徳」の充実

- 道徳的な課題を自分との関わりで捉え、他者との交流の中で多様な価値観に触れながら納得解を得られる授業づくり
- 自己の生き方についての考えを深める授業づくり

※「道徳教育パンフレット」参照

- 道徳教育の要としての補充・深化・統合の役割の確認

健やかな体の育成

健やかな体の育成には、心身の健康の保持増進に向けた取組を充実させるとともに、運動を推進して体力を養うことや、食育を推進して望ましい食習慣を形成することが必要です。家庭や地域との連携を図りながら、教育活動全体を通じて、児童生徒が自分で考えて、自分で決めて、自分から取り組めるようにしましょう。

また、様々な自然災害の発生や、情報化の進展に伴う児童生徒の環境の変化等を踏まえ、児童生徒の安全・安心に対する懸念が広がっていることから、安全に関する指導に努めましょう。

心身の健康の保持増進

- 児童生徒の適正な健康管理
 - ・適正な健康診断の実施と事後措置の徹底
 - ・アレルギー疾患への対応

[学校における食物アレルギー対応マニュアル](#)
- 心身の不調等の早期発見や、自己管理能力の育成
 - ・日頃からの健康観察の強化と結果の活用
 - ・家庭や関係機関等との連携強化
- 性に関する指導や、薬物乱用防止教育、がん教育等の充実
 - [外部講師の活用](#)
 - [がん教育の手引き](#)
- 望ましい生活習慣の定着による健康づくりの推進
 - ・肥満の予防・改善に向けた取組の充実

[小・中学校における生活習慣病予防対策基本方針](#)



運動の推進 [取組実践例](#)

- 「体力向上プラン」に基づく取組の充実
 - ・授業や体育的行事の工夫による、運動できる「時間」「空間」「仲間」の確保
 - ・運動時間や運動強度の工夫による、身体活動量（身体活動の強さ×行った時間の合計）の確保
- 授業と体育的行事の連携
 - ・仲間と体を動かす楽しさや喜びを実感することができる機会の確保（「時間」「空間」「仲間」の充実）
 - ・安全で適切な授業及び体育的行事の実施



※ガイドブックを参照してください。

食育の推進

- 食に関する正しい知識の習得と自己管理能力の育成
 - ・児童生徒の実態を踏まえた食に関する指導の全体計画に基づく組織的・計画的な取組
 - ・給食の時間や各教科等における食に関する指導の充実
- 望ましい食習慣の形成に向けた取組の推進
 - ・食に関する健康上の諸問題に対する栄養教諭等による個別的な相談指導の充実

[取組実践例](#)

[「食に関する指導の手引-第二次改訂版-」](#)

安全に関する指導の充実

- 自然災害、事故、事件などから主体的に身を守るための安全教育（災害安全・交通安全・生活安全）の推進
 - ・体育、保健体育、家庭科などの各教科、総合的な学習の時間や特別活動等における、安全に関する指導の充実

[県学校安全の手引き](#)

各教科等で身に付けたい資質・能力の育成

児童生徒一人一人がエージェンシーを発揮する学びの中で資質・能力を育成できるように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進しましょう。

はばたく群馬の指導プランⅡ
はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用
Version

各教科等の目標に迫る 「主体的・対話的で深い学び」

各教科等授業改善プロジェクト

公開授業ハイライト動画 R6 R7

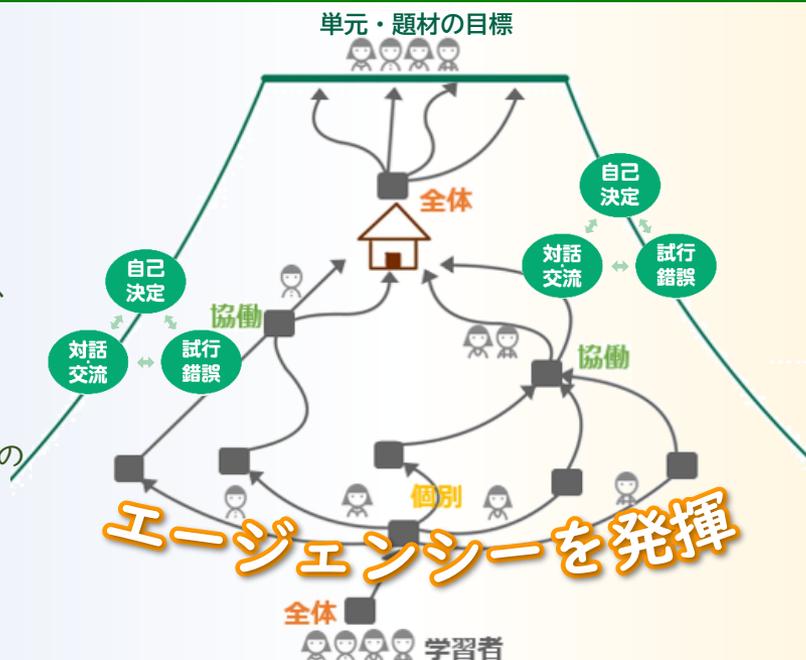
全国学力・学習状況調査学習サポート動画
R3 R4 R7

教師が「～させる」授業から、児童生徒一人一人が「～する」授業へ



環境の構成

- 学習のゴールを児童生徒と共有し、伴走者として適切に支援する
- 児童生徒の姿を適切に見取り、学びの価値の意識付けを行う
- 児童生徒が自ら決定できる学び方の選択肢を用意する



児童生徒の学び方改善

- 追究（求）すべき課題を自分たちで設定し、解決への見通しを持つ
- 課題解決に向けて、失敗を恐れずに繰り返し試行錯誤する
- 自らの学びを自覚し、自己調整につながる振り返りをする



「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』（文部科学省）より図を一部加工

教材研究 単元・題材構想

- 教科等の深い学びに向かい、学びたいという思いを引き出せる教材を研究する
- 児童生徒の日常生活や社会と関連した単元・題材を構想する
- 系統性を踏まえた学習状況やつまずき等、児童生徒の多様な実態を把握する
- 児童生徒の意識の流れに沿った問題解決的な学習、探究的な学習を重視する

ICTを活用した家庭学習のススメ
家庭と学校の学びをつなげた授業の実践事例

デジタル学習基盤の整備・活用

問題解決的な学習を充実させるICT機能

エージェンシーを発揮して学ぶ子供の姿と授業づくりのポイント

エージェンシーを発揮して学ぶ子供の姿は、授業の中でもたくさん現れます。
ここでは、各教科等において、特に現れてほしい子供の姿を重点的に示しています。

令和5~7年度
各教科等授業改善プロジェクト



各教科等で特に現れてほしい子供の姿

幼児教育

- 自ら友達、もの、ことなどの環境と関わり、遊びを生み出し、自分の世界を広げている。

国語

- 言葉への気付きを手掛かりに、考えを吟味しながら、言語活動に取り組んでいる。

社会

- 社会的事象の特色や意味、社会課題の解決策等を多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、図や文にまとめたり説明したりしている。

算数・数学

- 日常生活や社会、数学の事象に関わる数理的な問いを見いだしている。
- 数学的な表現を用いて交流し、自他の考えを広げ、深めている。

理科

- 日常生活や社会の自然事象から問題を見だし、具体的な課題を設定している。
- 多面的な視点からより妥当な考えをつくり出している。

生活

- 自らの思いや願いの実現に向けて、学習対象との関わり方を見いだしている。

音楽

- 曲や演奏のよさや美しさを見付け、確かめながら聴き返したり、思いや意図を持って音楽表現の工夫を試したりしている。

各教科等の授業づくりのポイント

- 理解者、共同作業、精神的に安定するためのよりどころなどの多様な関わりから、発達に必要な体験を得られるようにする。
- 発達に沿った意図的な環境を構成し、そこに幼児が関わり遊ぶ中で、夢中になって試行錯誤したり考えたりする状況をつくる。

- 言語活動を通して課題を解決する児童生徒の具体像を、主たる指導事項と照らして明確にし、児童生徒と共有する。
- 課題解決を支える「しかけ」を用いて学習活動を任せ、言葉への立ち返りと再考を促す「かかわり」を行う。

- 単元の課題の解決に向けて、学習計画を立てる活動を設定し、必要に応じて計画を見直す機会を保障する。
- 児童生徒の考えを深める資料を精選して提示したり、目的を明確にした交流の場を設定したりする。

- 解決方法、理由、性質、関係等への着目を促すしかけづくりや問いかけを行う。
- 他の考えを理解する機会と、比較・検討、関連付けを図る機会を意図的に設定する。

- 対象の自然事象と関わる中で児童生徒の素朴概念が現れる、ストーリーのある単元を構想する。
- 複数の過程をまとめて任せたくて、児童生徒が解決の見通しを持つことにつながる働きかけをする。

- 児童の思いや願いに寄り添い、支え、見守り、小さな変化に目を止められるような関わりをする。
- 体験活動と表現活動の相互作用を通して、児童が深い学びを実現できる単元を構想する。

- 音や音楽を捉える視点となる音楽を形づくっている要素を焦点化して、学習内容のつながりを意識した題材を構想する。
- 児童生徒の多様な気付きや感じ方を共有・共感しながら、個々の考え方や感じ方が広がる言語活動と音楽活動を設定する。

エージェンシーを発揮して学ぶ子供の姿と授業づくりのポイント

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

体育・保健体育

- 自己や仲間の課題を見付け、自他の気付きや他者の意見を生かして自ら考え判断し、課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。

図画工作・美術

- 表したいことに合わせて材料や表し方を決め、自分なりに工夫して表したり、作品や行為に込められた思いや願いを読み取り、自らの表現に生かしたりしている。

技術分野

- 問題の解決に向けて、試行錯誤を重ね、課題の解決策を構想したり改善・修正したりしている。

家庭・家庭分野

- 生活の中から問題を見いだして題材の課題を設定し、解決に向けた学習計画を立てている。

外国語活動・外国語

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて既習表現を駆使しながら自分の思いや考えを伝え合っている。

特別の教科 道徳

- 道徳的価値を自分との関わりで捉え、広い視野から多面的・多角的に考え、よりよい生き方への思いや願いを深めている。

特別活動（学級活動）

- 学級や自分の課題に気付き、他者との話合いや自己の振り返りを基に、よりよい解決方法を考え、実践している。

総合的な学習の時間

- 実社会や実生活の課題に対して、他者との関わりの中で納得解を考え続けている。

各教科等の授業づくりのポイント

- 身体活動量を確保した上で、積極的に仲間と関わりながら、自他の課題を見付けたり、解決したりする活動を設定する。
- 意図的な発問により、児童生徒の気付きや意見を引き出し、自分の考えを仲間と交流して課題解決する場面を設定する。

- 児童生徒の実態に合わせて、材料や表し方を繰り返し試したり、互いの活動や作品を自然と見合えたりする環境を構成する。
- 見取った個々の児童生徒の学習状況に応じて、主体性を促す言葉掛けや材料の提示を行う。

- 三年間を見通して、選択、管理・運用することで解決できる問題から、改良、応用しなければ解決できない問題へと題材配列を段階的に設定する。
- 問題解決の過程で、必要な情報や材料等がいつでも得られ、繰り返し試行・試作できる環境を構成する。

- 家庭・家庭分野の「学習過程」－「学習計画」－「思考・判断・表現の評価」が相互に関連するように指導及び評価の計画を立てる。
- 題材に応じて、問題を見いだす活動を「見本の観察」「実際の試し」「生活場面の想起」から選択する。

- 自分事として考えられる目的や場面、状況等が明確にある言語活動を単元の中に意図的・計画的に設定する。
- 単元末の具体的な姿を基に言語活動の様子を見取り、伝える内容や用いる表現に関する気付きを促す問い返しをする。

- 指導の意図を明確にし、多様な考えを引き出す中心発問と考えを深める補助発問を精選する。
- 道徳的価値についての多様な感じ方や考え方の交流を通して考えたことや気付いたことを基に、自己を見つめ直す振り返りの活動を設定する。

- 問題意識を高めたり、少数意見の価値化を図ったりするなど、課題を自分事化し、一人一人が熱意をもって合意形成したくなるようなしかけを行う。
- 他者と認め合う活動やキャリア・パスポートを用いた定期的な自己評価など、自分のよさをさらに伸ばす意思決定に結びつくような自己肯定感を高める工夫をする。

- 探究課題との出会いの際に地域の方や専門家の思いや願いを受け止める活動を設定する。
- 探究の目的や相手を確認したり考えを整理したりして、児童生徒を支えながら共に探究する姿勢を大切にする。

本指針の内容に関連する資料等

以下の[リンク](#)や二次元コードから、関連する資料等を閲覧・ダウンロードできます。

◎[群馬県教育ビジョン](#)
(第4期群馬県教育振興基本計画)



◎[エージェンシーを発揮する](#)
[「自律した学習者」へ](#)



教育課程



- 県教育委員会発行資料
 - ・生徒指導関係
 - ・教科指導関係
 - ・幼児教育関係
 - ・人権・キャリア教育関係
 - ・外国人児童生徒等教育関係
- 文部科学省発行資料

業務改善



- 県教育委員会発行資料
 - ・多忙化解消関係
 - ・教職員人事評価関係
 - ・メンタルヘルス
 - ・部活動関係
- 文部科学省発行資料

研修



- 群馬県総合教育センター
 - ・研修講座
 - ・相談窓口
 - ・学びの支援等
- NITS独立行政法人
教職員支援機構
- 文部科学省/mextchannel

特別支援教育



- 特別支援学級関係
- 通級指導関係
- 交流及び共同学習関係
- 個別の教育支援計画、
指導計画関係
- 独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

健康・体育



- 体育・保健体育関係
- 保健指導・健康教育関係
- 食育関係

総合教育センター



各教育事務所

中部 / 西部
吾妻 / 利根
東部